

東京都動物愛護管理推進計画に基づく 施策の実施状況

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策1 適正飼養・終生飼養に係る普及啓発の強化

(1) 動物の適正飼養に関する普及啓発

○安易な飼養防止の普及啓発 ○飼い主責任の徹底

(2) 都民に身近な情報の提供

○相談窓口の機能の充実 ○普及啓発活動の機会の拡大

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆動物愛護相談センターによる区市町村狂犬病予防・動物愛護管理担当者対象研修会 (平成26年6月)</p> <p>◆動物愛護週間中央行事において、普及啓発イベントの実施 (平成26年9月)</p> <p>◆適正飼養講習会「犬と猫の行動学～見逃していませんか？ペットの気持ち～」 (平成27年2月)</p>	<p>◆動物愛護相談センターによる区市町村狂犬病予防・動物愛護管理担当者対象研修会 (平成27年6月)</p> <p>◆動物愛護週間中央行事において、普及啓発イベントの実施 (平成27年9月)</p> <p>◆適正飼養講習会「ペットの行動学～問題解決のためのABC～」 (平成28年2月)</p> <p>◆動物愛護アニメ「犬を飼うってステキですか？」を作成し、東京都YouTubeで公開 (平成27年9月)</p> <p>◆パンフレット「ペットと暮らすシニア世代の方へ」を作成し、高齢者関係部署へ配布 (平成28年2月)</p>	<p>◆動物愛護相談センターによる区市町村狂犬病予防・動物愛護管理担当者対象研修会 (平成28年6月)</p> <p>◆動物愛護週間中央行事において、普及啓発イベントの実施 (平成28年9月)</p> <p>◆適正飼養講習会「高齢ペットとの暮らし方～愛犬 愛猫のシニア期に備えて～」 (平成29年2月)</p>	<p>◆動物愛護相談センターによる区市町村狂犬病予防・動物愛護管理担当者対象研修会 (平成29年6月、11月)</p> <p>◆動物愛護週間中央行事において、普及啓発イベントの実施 (平成29年9月)</p> <p>◆譲渡事業PRイベントにて、ミニ講習会(犬のしつけ教室等)を開催 (平成29年9月、11月)</p> <p>◆都立中央図書館にて適正飼養に関するパネル展示 (平成29年5月)</p> <p>◆適正飼養講習会「ネコとヒトのコミュニケーション」 (平成29年11月)</p> <p>◆インターネット都政モニター「東京におけるペットの飼育」実施 (平成30年1月)</p> <p>◆都庁1階エントランスで、動物の適正飼養に関するパネル展示 (平成30年2月)</p>	<p>◆動物愛護相談センターによる区市町村狂犬病予防・動物愛護管理担当者対象研修会 (平成30年6月)</p> <p>◆動物愛護週間中央行事において、普及啓発イベントの実施 (平成30年9月予定)</p> <p>◆適正飼養講習会 (平成30年11月予定)</p> <p>◆譲渡事業PRイベントにて、ミニ講習会(犬のしつけ教室等)を開催 (予定)</p> <p>◆動物取扱業者を通じた普及啓発パンフレット等の配布 (予定)</p>

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策2 犬の適正飼養の徹底

(1) 登録・狂犬病予防注射接種率の向上

○動物病院等での登録・注射済票交付代行の一層の促進 ○飼い主が利用する施設での普及啓発

(2) 犬による事故の未然防止、ルール遵守の普及啓発

○こう傷(犬が人を咬む)事故の未然防止 ○ルールやマナーの遵守徹底

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院等での登録・注射済票交付代行等の促進 16区17市町村(平成26年4月現在) ◆適正飼養の普及啓発について 建設局等と情報交換 ◆都庁1階エントランスで、狂犬病予防法遵守を普及啓発するためのパネル展示(平成26年4月) ◆飼育動物診療施設開設者講習会での情報提供及び普及啓発協力依頼(平成27年3月) ◆パンフレット「犬の飼い方」の内容改訂(平成27年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院等での登録・注射済票交付代行等の促進 17区17市町村(平成27年4月現在) ◆適正飼養の普及啓発について 建設局等と情報交換 ◆都庁1階エントランスで、狂犬病予防法遵守を普及啓発するためのパネル展示(平成27年4月) ◆飼育動物診療施設開設者講習会での情報提供及び普及啓発協力依頼(平成28年3月) ◆都営地下鉄車内液晶モニター等を活用した狂犬病予防注射実施の普及啓発(平成27年6月から7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院等での登録・注射済票交付代行等の促進 17区 18市町村(平成28年4月現在) ◆適正飼養の普及啓発について 建設局等と情報交換 ◆都庁1階エントランスで、狂犬病予防法遵守を普及啓発するためのパネル展示(平成28年4月) ◆飼育動物診療施設開設者講習会での情報提供及び普及啓発協力依頼(平成29年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院等での登録・注射済票交付代行等の促進 17区 18市町村(平成29年4月現在) ◆適正飼養の普及啓発について 建設局等と情報交換 ◆都庁1階エントランスで、狂犬病予防法遵守を普及啓発するためのパネル展示(平成29年4月) ◆飼育動物診療施設開設者講習会での情報提供及び普及啓発協力依頼(平成30年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院等での登録・注射済票交付代行等の促進 17区 19市町村(平成30年4月現在) ◆適正飼養の普及啓発について 建設局等と情報交換 ◆都庁1階エントランスで、狂犬病予防法遵守を普及啓発するためのパネル展示(平成30年4月) ◆飼育動物診療施設開設者講習会での情報提供及び普及啓発協力依頼(予定)

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策3 地域の飼い主のいない猫対策の拡充

(1) 猫の飼養3原則の一層の普及啓発

(2) 飼い主のいない猫対策の一層の推進

○飼い主のいない猫対策の普及啓発 ○地域における飼い主のいない猫対策の推進

○区市町村と動物愛護ボランティア等との連携の推進

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策）の活用 34 区市町村</p> <p>◆飼い主のいない猫との共生支援事業 5 支援地域</p> <p>◆区市町村担当者会議において、飼い主のいない猫対策の取組状況について情報交換</p> <p>◆パンフレット「猫の飼い方」の内容改訂（平成27年3月）</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策）の活用 38 区市町村</p> <p>◆飼い主のいない猫との共生支援事業 4 支援地域</p> <p>◆区市町村担当者会議において、飼い主のいない猫対策の取組状況について情報交換</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策）の活用 38 区市町村</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策緊急促進事業）の活用 3 区</p> <p>◆飼い主のいない猫との共生支援事業 2 支援地域</p> <p>◆区市町村担当者会議において、飼い主のいない猫対策の取組状況について情報交換</p> <p>◆リーフレット「ご存じですか？ 飼い主のいない猫対策」改訂（平成29年3月）</p> <p>◆都・区市町村担当で構成する動物行政検討会において、飼い主のいない猫対策に関する情報交換、対策検討し、飼い主のいない猫対策事例集作成（平成29年3月）</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策）の活用 38 区市町村</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策緊急促進事業）の活用 4 区</p> <p>◆飼い主のいない猫との共生支援事業 2 支援地域</p> <p>◆区市町村担当者会議において、飼い主のいない猫対策の取組状況について情報交換</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策）の活用 40 区市町村（予定）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策緊急促進事業）の活用 6 区市（予定）</p> <p>◆飼い主のいない猫との共生支援事業 2 支援地域（平成30年7月現在）</p> <p>◆区市町村担当者会議において、飼い主のいない猫対策の取組状況について情報交換</p> <p>◆「飼い主のいない猫」との共生をめざす街ガイドブック 問題解決のABC」内容改定予定</p>

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策4 多頭飼育に起因する問題への対応

(1) 多頭飼育問題に対応するための連携体制の構築

○区市町村における関係部署の連携体制の構築

○区市町村と関係団体・関係機関とのネットワーク構築

(2) 多頭飼育問題への対応力の向上

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（多頭飼育問題対策支援事業）の活用 1区</p> <p>◆都内福祉関係者への情報提供（平成26年9月）</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（多頭飼育問題対策支援事業）の活用 1区</p> <p>◆東京都市保健師事務連絡会等において、多頭飼育問題に関する情報提供（平成27年11月）</p> <p>◆行政職員、登録譲渡対象団体、動物愛護推進員を対象とした研修会（平成28年1月） 「都の多頭飼育問題への取組について」 「社会福祉学から見たアニマルホーダー」</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（多頭飼育問題対策支援事業）の活用 1区</p> <p>◆都内福祉関係機関への情報提供（平成28年9月、10月、11月、12月、平成29年1月、3月）</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（多頭飼育問題対策支援事業）の活用 1区</p> <p>◆都内福祉関係機関への情報提供（平成29年8月）</p> <p>◆都・区市町村担当で構成する動物行政検討会において、多頭飼育問題に関する情報交換、対策検討（平成29年7月、平成30年1月）</p>	<p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（多頭飼育問題対策支援事業）の活用 1区（予定）</p> <p>◆都・区市町村担当で構成する動物行政検討会において、多頭飼育問題に関する情報交換、対策検討（平成30年7月）</p>

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策5 動物の遺棄・虐待防止に関する対策

(1) 動物の遺棄・虐待への対応

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆動物の遺棄・虐待対応のための外部研修(英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)研修)受講(平成26年11月) ◆警視庁との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物の遺棄・虐待対応のための外部研修(英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)研修)受講(平成27年10月) ◆警視庁との情報交換 ◆遺棄・虐待防止ポスターを作成し、区市町村、警察署、都立公園へ配布(平成27年9月) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した遺棄・虐待防止の普及啓発(平成27年12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物の遺棄・虐待対応のための外部研修(英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)研修)受講(平成28年11月、12月) ◆警視庁との情報交換 ◆大型デジタルサイネージ等を活用した遺棄・虐待防止の普及啓発(平成29年1～2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物の遺棄・虐待対応のための外部研修(英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)研修)受講(平成29年11月) ◆警視庁との情報交換 ◆動物虐待の科学的裏付けのための外部研修(法獣医学セミナー)受講(平成29年6月) ◆動物虐待等科学的評価研修会(環境省主催)受講(平成29年9月) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した遺棄・虐待防止の普及啓発(平成30年1月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物の遺棄・虐待対応のための外部研修(英国王立動物虐待防止協会(RSPCA)研修)受講(予定) ◆警視庁との情報交換 ◆動物虐待の科学的裏付けのための外部研修(法獣医学セミナー)受講(平成30年6月) ◆動物虐待等科学的評価研修会(環境省主催)受講(予定) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した遺棄・虐待防止の普及啓発(予定)

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策6 適正飼養の普及啓発に係る動物愛護推進員等の人材育成

(1) 区市町村と動物愛護推進員等との連携推進

(2) 動物愛護推進員研修の充実と普及啓発

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆動物愛護推進員新規委嘱 17名、計305名(平成26年4月) ◆動物愛護推進員の活動分野 区市町村へ情報提供(平成26年5月) ◆動物愛護推進員間の連絡用名簿送付(平成26年5月) ◆動物愛護推進員研修会の開催 5月:「これまでの災害における動物救護活動」 「東京都動物愛護管理推進計画の改定」 9月:「高齢者とペットの暮らし」 「トラブル事例と法律」、 「地域猫対策」 2月:「動物管理における臭気対策」 「法律から見たペットトラブル」 「犬と猫の行動学～見逃していませんか?ペットの気持ち」 3月:「東京都の防災計画」 「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」 ◆活動分野別連絡会の開催 1月:「動物愛護相談センター施設見学」 2月:「避難所における動物管理」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物愛護推進員新規委嘱 26名、計300名(平成27年4月) ◆動物愛護推進員の活動分野を区市町村へ情報提供(平成27年5月) ◆動物愛護推進員間の連絡用名簿送付(平成27年5月) ◆動物愛護推進員研修会の開催 5月:「動物愛護推進員活動におけるコミュニケーション術」 9月:「命の花プロジェクト」 1月:「都の多頭飼育問題への取り組みについて」 「社会福祉学から見たアニマルホーダー」 2月:「ペットの行動学～問題解決のためのABC～」 ◆活動分野別連絡会の開催 12月:「動物愛護相談センター施設見学」 3月:「動物教室」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物愛護推進員新規委嘱 20名、計305名(平成28年4月) ◆動物愛護推進員の活動分野を区市町村へ情報提供(平成28年6月) ◆動物愛護推進員間の連絡用名簿送付(平成28年6月) ◆動物愛護推進員研修会の開催 5月:「障害者差別解消法の概要」 「ペットトラブル」 9月:「人も動物も幸せになれる譲渡とは?」 「熊本県災害対応」 2月:「高齢ペットとの暮らし方～愛犬愛猫のシニア期に備えて～」 ◆活動分野別連絡会の開催 2月:「飼い主のいない猫活動連絡会」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物愛護推進員新規委嘱 16名、計306名(平成29年4月) ◆動物愛護推進員の活動分野を区市町村へ情報提供(平成29年6月) ◆動物愛護推進員間の連絡用名簿送付(平成29年6月) ◆動物愛護推進員研修会の開催 5月:「動物愛護推進員活動におけるコミュニケーション術」 9月:「ペットの防災対策」 11月:「ネコとヒトのコミュニケーション」 ◆活動分野別連絡会の開催 1月:「動物愛護相談センター施設見学」 2月:「飼い主のいない猫活動」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物愛護推進員新規委嘱 21名、計307名(平成30年4月) ◆動物愛護推進員の活動分野を区市町村へ情報提供(平成30年6月) ◆動物愛護推進員間の連絡用名簿送付(平成30年7月) ◆動物愛護推進員研修会の開催 5月:「人とペットの災害対策について」 9月、11月開催予定 ◆活動分野別連絡会開催予定

施策展開の方向1 動物の適正飼養の啓発と徹底

施策7 小中学校等の教育現場での動物愛護管理の普及啓発活動への支援

- (1) 子供の発達段階に応じた普及啓発
- (2) 動物愛護推進員との連携による教育現場での普及啓発の拡大
- (3) 動物へのストレスに配慮した普及啓発

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆動物愛護相談センターで実施している動物教室への推進員の参加・協力 19名(延べ58名)</p> <p>◆小学校低学年を対象とした動物教室の実施 48回</p> <p>◆教育庁主催教員対象講習会への講師派遣 (平成26年8月)</p>	<p>◆動物愛護相談センターで実施している動物教室への推進員の参加・協力 19名(延べ44名)</p> <p>◆動物愛護相談センターサマースクール開催2回 (平成27年8月)</p> <p>◆小学校低学年を対象とした動物教室の実施 37回 そのうち、動物を使わない動物教室 12回</p> <p>◆教育庁主催教員対象講習会への講師派遣 (平成27年8月)</p> <p>◆動物愛護アニメ「犬を飼うってステキですか？」 DVDの都内小学校への配布(約1300校) (平成27年9月)</p> <p>◆小中学校における授業の一つとして動物愛護管理の普及啓発</p>	<p>◆動物愛護相談センターで実施している動物教室への推進員の参加・協力 12名(延べ26名)</p> <p>◆動物愛護相談センター夏休み動物セミナーの開催2回 (平成28年8月)</p> <p>◆小学校低学年を対象とした動物教室の実施 34回 そのうち、動物を使わない動物教室 11回</p> <p>◆教育庁主催教員対象講習会への講師派遣 (平成28年8月)</p> <p>◆小中学校における授業の一つとして動物愛護管理の普及啓発</p>	<p>◆動物愛護相談センターで実施している動物教室への推進員の参加・協力 12名(延べ26名)</p> <p>◆動物愛護相談センター夏休み動物セミナーの開催2回 (平成29年8月)</p> <p>◆小学校低学年を対象とした動物教室の実施 31回 そのうち、動物を使わない動物教室 20回</p> <p>◆教育庁主催教員対象講習会への講師派遣 (平成29年8月)</p> <p>◆小中学校における授業の一つとして動物愛護管理の普及啓発</p>	<p>◆動物愛護相談センターで実施している動物教室への推進員の参加・協力</p> <p>◆動物愛護相談センター夏休み動物セミナーの開催2回 (平成30年8月)</p> <p>◆小学校低学年を対象とした動物教室の実施 60回 予定(委託により動物を使わない動物教室を実施)</p> <p>◆教育庁主催教員対象講習会への講師派遣 (平成30年8月)</p> <p>◆小中学校における授業の一つとして動物愛護管理の普及啓発</p>

施策展開の方向2 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

施策8 動物取扱業の監視強化

(1) 動物取扱業に関する規制の周知

(2) 第一種動物取扱業者への監視強化

○事業者評価制度に基づく重点的監視の実施 ○動物販売業者への監視指導の強化

(3) 第二種動物取扱業者の監視指導

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆第一種動物取扱業登録施設数 4,333軒 第二種動物取扱業届出施設数 33軒 (平成26年度末)</p> <p>◆動物取扱業の事業者評価制度による効果的・効率的な監視</p> <p>◆自主管理点検票の作成・配布と動物取扱責任者研修会での自主点検実施の指導</p> <p>◆第一種動物取扱業監視件数 2,451件 第二種動物取扱業監視件数 39件 (平成26年度実績)</p> <p>◆行政処分等 改善勧告1件、改善命令1件 (ペットショップ)</p>	<p>◆第一種動物取扱業登録施設数 4,493軒 第二種動物取扱業届出施設数 62軒 (平成27年度末)</p> <p>◆動物取扱業の事業者評価制度による効果的・効率的な監視</p> <p>◆自主管理点検票の作成・配布と動物取扱責任者研修会での自主点検実施の指導</p> <p>◆第一種動物取扱業監視件数 3,395件 第二種動物取扱業監視件数 53件 (平成27年度実績)</p> <p>◆法改正事項遵守について事業者へに通知</p> <p>◆行政処分等 業務停止命令1件 (ペットショップ) 改善勧告1件、改善命令1件 (猫カフェ)</p>	<p>◆第一種動物取扱業登録施設数 4,613軒 第二種動物取扱業届出施設数 83軒 (平成28年度末)</p> <p>◆動物取扱業の事業者評価制度による効果的・効率的な監視</p> <p>◆自主管理点検票の作成・配布と動物取扱責任者研修会での自主点検実施の指導</p> <p>◆第一種動物取扱業監視件数 7,091件 第二種動物取扱業監視件数 49件 (平成28年度実績)</p> <p>◆法改正事項遵守について事業者へに通知</p> <p>◆猫カフェ一斉監視 61軒 (平成28年7月から10月)</p> <p>◆行政処分等 業務停止命令1件、登録取消し 1件(猫カフェ)</p>	<p>◆第一種動物取扱業登録施設数 4,715軒 第二種動物取扱業届出施設数 85軒 (平成29年度末)</p> <p>◆動物取扱業の事業者評価制度による効果的・効率的な監視</p> <p>◆自主管理点検票の作成・配布と動物取扱責任者研修会での自主点検実施の指導</p> <p>◆第一種動物取扱業監視件数 4,378件 第二種動物取扱業監視件数 27件 (平成29年度実績)</p>	<p>◆第一種動物取扱業登録施設数 4,781軒 第二種動物取扱業届出施設数 87軒 (平成30年6月末現在速報値)</p> <p>◆動物取扱業の事業者評価制度による効果的・効率的な監視</p> <p>◆自主管理点検票の作成・配布と動物取扱責任者研修会での自主点検実施の指導</p> <p>◆第一種動物取扱業監視件数 1,132件 第二種動物取扱業監視件数 17件 (平成30年6月末現在速報値)</p>

施策展開の方向2 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

施策9 動物取扱業の指導事項等の拡大への対応

- (1) 業態に応じた監視指導の実施
- (2) 動物取扱責任者研修の充実
- (3) 動物取扱業関連の人材養成施設に対する支援

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆業態に応じた遵守規定に関する監視指導の実施 ◆動物関係専門学校生の動物愛護相談センター見学受入れ ◆動物関係専門学校へ適正飼養講習会の案内 ◆動物取扱責任者研修内容 「法令遵守」 「種の保存法」 「ペットに関する消費者相談事例」 ◆臭気予防リーフレットの作成(平成26年12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業態に応じた遵守規定に関する監視指導の実施 ◆動物関係専門学校生の動物愛護相談センター見学受入れ ◆動物関係専門学校へ適正飼養講習会の案内 ◆動物取扱責任者研修内容 「法令遵守」 「施設の衛生管理」 「トラブル対策(法律知識)」 ◆犬猫等販売業者に対する定期報告の周知 ◆犬猫等販売業者等への制度の周知 ・日齢規制の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業態に応じた遵守規定に関する監視指導の実施 ◆動物関係専門学校生の動物愛護相談センター見学受入れ ◆動物関係専門学校へ適正飼養講習会の案内 ◆動物取扱責任者研修内容 「法令遵守」 「動物の問題行動」 「臭気対策」 ◆犬猫等販売業者に対する定期報告の周知 ◆犬猫等販売業者等への制度の周知 ・日齢規制の変更 ・夜間展示について 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業態に応じた遵守規定に関する監視指導の実施 ◆動物関係専門学校生の動物愛護相談センター見学受入れ ◆動物関係専門学校へ適正飼養講習会の案内 ◆動物取扱責任者研修内容 「法令遵守」 「動物の感染症について」 「動物取扱業における災害時の危機管理について」 ◆犬猫等販売業者に対する定期報告の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業態に応じた遵守規定に関する監視指導の実施 ◆動物関係専門学校へ適正飼養講習会の案内(予定) ◆動物取扱責任者研修内容 「法令遵守」 「動物由来感染症について」 「動物福祉に配慮した飼養管理について」 ◆犬猫等販売業者に対する定期報告の周知(予定)

施策展開の方向2 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

施策10 特定動物飼養許可及び適正飼養の徹底

(1) 特定動物の飼い主等の社会的責任の徹底

○特定動物の飼い主に対する監視指導の強化 ○特定動物の販売業者による購入者への指導の徹底

(2) 特定動物の監視指導体制の強化

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆特定動物飼養許可施設数 127軒 (平成26年度末)</p> <p>◆特定動物監視件数 172件 (平成26年度実績)</p> <p>◆特定動物を取り扱う動物取扱業者に対して指導を強化</p>	<p>◆特定動物飼養許可施設数 126軒 (平成27年度末)</p> <p>◆特定動物監視件数97件 (平成27年度実績)</p> <p>◆特定動物を取り扱う動物取扱業者に対して指導を強化</p> <p>◆特定動物飼養・保管許可取得者に対し、文書による飼養状況調査の実施</p>	<p>◆特定動物飼養許可施設数 119軒 (平成28年度末)</p> <p>◆特定動物監視件数113件 (平成28年度実績)</p> <p>◆特定動物を取り扱う動物取扱業者に対して指導を強化</p> <p>◆特定動物飼養・保管許可取得者に対し、文書による飼養状況調査の実施</p>	<p>◆特定動物飼養許可施設数 108軒 (平成29年度末)</p> <p>◆特定動物監視件数184件 (平成29年度実績)</p> <p>◆特定動物を取り扱う動物取扱業者に対して指導を強化</p> <p>◆特定動物飼養・保管許可取得者に対し、文書による飼養状況調査の実施</p>	<p>◆特定動物飼養許可施設数 107軒 (平成30年6月末現在速報値)</p> <p>◆特定動物監視件数12件 (平成30年6月末現在速報値)</p> <p>◆特定動物を取り扱う動物取扱業者に対して指導を強化</p> <p>◆特定動物飼養・保管許可取得者に対し、文書による飼養状況調査の実施(予定)</p>

施策展開の方向2 事業者等による動物の適正な取扱いの推進

施策11 産業動物及び実験動物の適正な取扱いへの対応

(1) 畜産業者等への指導

(2) 実験動物施設への普及啓発

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆畜舎の監視の際に動物の取扱いや施設の管理についての指導をあわせて実施</p> <p>○畜舎の許可施設数 152軒、監視件数 31件 (平成26年度末)</p> <p>※畜舎の許可及び監視指導については多摩地域のみ (八王子市、町田市を除く)</p> <p>◆「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」の一部改正の周知 (平成27年3月)</p>	<p>◆畜舎の監視の際に動物の取扱いや施設の管理についての指導をあわせて実施</p> <p>○畜舎の許可施設数 150軒、監視件数 14件 (平成27年度末)</p> <p>※畜舎の許可及び監視指導については多摩地域のみ (八王子市、町田市を除く)</p>	<p>◆畜舎の監視の際に動物の取扱いや施設の管理についての指導をあわせて実施</p> <p>○畜舎の許可施設数 151軒、監視件数 19件 (平成28年度末)</p> <p>※畜舎の許可及び監視指導については多摩地域のみ (八王子市、町田市を除く)</p>	<p>◆畜舎の監視の際に動物の取扱いや施設の管理についての指導をあわせて実施</p> <p>○畜舎の許可施設数 150軒、監視件数 18件 (平成29年度末)</p> <p>※畜舎の許可及び監視指導については多摩地域のみ (八王子市、町田市を除く)</p> <p>◆家畜の動物福祉に関する外部研修受講 (平成29年11月)</p>	<p>◆畜舎の監視の際に動物の取扱いや施設の管理についての指導をあわせて実施</p> <p>○畜舎の許可施設数 150軒、監視件数 11件 (平成30年6月末現在速報値)</p> <p>※畜舎の許可及び監視指導については多摩地域のみ (八王子市、町田市を除く)</p>

施策展開の方向3 動物の致死処分数の更なる減少を目指した取組の推進

施策12 譲渡拡大のための仕組みづくり

(1) 多様な連携による譲渡拡大

○譲渡に取り組むボランティア団体等との連携拡大 ○譲渡に取り組むボランティア団体等への支援

(2) 譲渡制度の普及啓発

(3) 地域における動物保護等の取組の推進

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆登録譲渡団体 46団体 (平成26年度末) ◆譲渡対象団体の登録基準を見直し、非営利の団体だけでなく一定の条件を満たすペット関連企業とも連携 ◆登録譲渡対象団体専用譲渡サイトを開設し、譲渡対象動物の情報提供 ◆登録譲渡対象団体研修会の開催(平成27年1月) ◆パンフレット「成犬・成猫の新しい飼い主になってみませんか?」を作成し、区市町村・動物愛護団体・ペット関連企業等に配布(平成27年3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆登録譲渡団体 46団体 (平成27年度末) ◆譲渡事業PRイベントの開催(平成27年7月恩賜上野動物園、8月井の頭動物園、10月小金井公園、葛西臨海公園) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した譲渡事業の普及啓発(平成27年9月、10月) ◆登録譲渡対象団体研修会の開催(平成28年1月) ◆医療保健政策区市町村包括補助事業(地域における動物保護等の取組事業)開始 ◆環境省モデルプラン保護犬の譲渡推進事業開始 (台東区・東京都) ◆動物愛護相談センターサマースクールで、譲渡事業PR(平成27年8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆登録譲渡団体 48団体(平成28年度末) ◆譲渡事業PRイベントの開催(平成28年6月井の頭動物園、10月葛西臨海公園) ◆犬猫専門誌に譲渡事業の広告掲載(平成28年9月) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した譲渡事業の普及啓発(平成28年9月、11月) ◆登録譲渡団体研修会の開催(平成29年2月) ◆殺処分ゼロに向けた取組の強化 ◆都独自の動物譲渡促進月間の設定(平成28年11月) <ul style="list-style-type: none"> ○動物愛護相談センターホームページで登録譲渡団体の譲渡会情報を紹介開始 ○動物愛護知事メッセージ動画を作成し、東京都YouTubeやイベントで配信 ○新宿駅西口広場イベントコーナーで譲渡事業PR イベントの開催 ◆動物愛護アニメ「ボクの家にはネコがくるよ」を作成し、東京都YouTubeで公開(平成28年12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆登録譲渡団体 50団体(平成29年度末) ◆譲渡事業PRイベントの開催(平成29年9月葛西臨海公園、平成30年2月井の頭動物園) ◆犬猫専門誌に譲渡事業の広告掲載(平成29年8月、10月) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した譲渡事業の普及啓発(平成29年10月、11月) ◆離乳前子猫を育成・譲渡するミルクボランティア事業開始 ◆登録譲渡対象団体研修会の開催(平成30年2月) ◆動物譲渡促進月間の取組(平成29年11月) <ul style="list-style-type: none"> ○東京都動物情報サイト「ワンニャンとうきょう」を開設 ○成犬、成猫の譲渡を促進するポスターを作成し都営地下鉄駅掲示板等に掲出 ○動物愛護知事メッセージ動画を作成し、東京動画やイベントで配信 ○新宿駅西口広場イベントコーナーで譲渡事業PRイベントの開催 ○都民ホールにて犬の譲渡事前講習会の開催 ○適正飼養講習会に合わせ、登録譲渡団体のPR講演、登録譲渡団体のPRブースを設置 ○都庁1階エントランスで、動物譲渡事業を普及啓発するためのパネル展示 	<ul style="list-style-type: none"> ◆登録譲渡団体48団体(平成30年8月末現在) ◆譲渡事業PRイベントの開催(予定) ◆犬猫専門誌等に譲渡事業の広告掲載(犬:予定、猫:平成30年8月) ◆大型デジタルサイネージ等を活用した譲渡事業の普及啓発(予定) ◆離乳前子猫を育成・譲渡するミルクボランティア事業実施 ◆負傷動物の譲渡に協力する登録譲渡団体等に必要な物品等を支援する取組を開始 ◆登録譲渡団体研修会の開催(予定) ◆東京都動物情報サイト「ワンニャンとうきょう」に飼い主支援情報を追加(平成30年11月予定)

施策展開の方向3 動物の致死処分数の更なる減少を目指した取組の推進

施策13 取扱動物の適正な飼養管理の確保

(1) 取扱動物の健康安全面を一層考慮した飼養管理の推進

(2) 収容施設から譲渡拡大に向けた施設への転換

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆動物福祉と動物の健康安全面を一層考慮した飼養環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○成猫用飼育ケージの増置 ○動物収容舎のエアコン改修 	<p>◆動物福祉と動物の健康安全面を一層考慮した飼養環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物愛護相談センター多摩支所飼養施設(犬舎、猫舎)の改修 ○動物愛護相談センター本所小型犬用ケージ敷板の改善 	<p>◆動物福祉と動物の健康安全面を一層考慮した飼養環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物愛護相談センター本所中型犬用ケージ敷板の改善 	<p>◆動物福祉と動物の健康安全面を一層考慮した飼養環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○動物愛護相談センター本所医務室の改修 ○動物愛護相談センター本所動物紹介カードの作成・掲示 <p>◆中長期にわたる飼養管理方法の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○散歩チェック表の改善や定期的な体重管理による日常的な健康管理の徹底 ○寄生虫やウイルス検査の徹底(感染症予防対策) ○介護仕切り板や散歩用車いす作製など個別の症状に合わせた対応の実施 	<p>◆動物福祉と動物の健康安全面を一層考慮した飼養環境の整備</p>

施策展開の方向4 災害対策をはじめとする適正な飼養管理の確保

施策14 動物由来感染症への対応強化

(1) 動物由来感染症の発生に備えた連携体制の強化

(2) 動物病院における動物由来感染症モニタリング

(3) 動物取扱業における動物由来感染症病原体保有状況調査

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院における動物由来感染症モニタリング事業の実施（平成26年4月～27年3月） ◆動物取扱業における動物由来感染症調査事業の実施 ◆動物由来感染症に関する情報についてHPの内容を更新 ◆動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査 ◆狂犬病発生時対応マニュアルに基づく訓練（平成26年10月、11月） ◆犬における狂犬病調査の実施（平成26年10月、平成27年2月） ◆野生動物における狂犬病調査の実施（平成27年2月、3月） ◆動物由来感染症対策技術研修会（厚労省主催） 受講（平成26年11月） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院における動物由来感染症モニタリング事業の実施（平成27年4月～平成28年3月） ◆動物取扱業における動物由来感染症調査事業の実施 ◆パンフレット「人と動物との共通感染症」の内容改訂（平成27年8月） ◆動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査 ◆狂犬病発生時対応マニュアルに基づく訓練（平成27年10月、11月） ◆犬における狂犬病調査の実施（平成27年11月、平成28年1月） ◆野生動物における狂犬病調査の実施（平成28年2月） ◆動物由来感染症対策技術研修会（厚労省主催） 受講（平成27年10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院における動物由来感染症モニタリング事業の実施（平成28年4月～平成29年3月） ◆動物取扱業における動物由来感染症調査事業の実施 ◆動物取扱責任者研修会で、動物取扱業における動物由来感染症調査結果の情報提供と予防対策について普及啓発 ◆動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査 ◆狂犬病発生時対応マニュアルに基づく訓練（平成28年11月） ◆犬における狂犬病調査の実施（平成28年4月） ◆野生動物における狂犬病調査の実施（平成29年2月） ◆動物由来感染症対策技術研修会（厚労省主催） 受講（平成28年10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院における動物由来感染症モニタリング事業の実施（平成29年4月～平成30年3月） ◆動物取扱業における動物由来感染症調査事業の実施 ◆動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査 ◆狂犬病発生時対応マニュアルに基づく訓練（平成29年11月） ◆犬における狂犬病調査の実施（平成29年10月、11月、12月、平成30年2月） ◆野生動物における狂犬病調査の実施（平成30年3月） ◆動物由来感染症対策技術研修会（厚労省主催） 受講（平成29年10月） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆動物病院における動物由来感染症モニタリング事業の実施（平成30年4月～） ◆動物取扱業における動物由来感染症調査事業の実施 ◆動物愛護相談センターにおける動物由来感染症調査 ◆狂犬病発生時対応マニュアルに基づく訓練（平成30年11月予定） ◆犬における狂犬病調査の実施（予定） ◆野生動物における狂犬病調査の実施（予定） ◆動物由来感染症対策技術研修会（厚労省主催） 受講（予定）

施策展開の方向4 災害対策をはじめとする適正な飼養管理の確保

施策15 災害時の動物救護体制の充実

(1) 災害時の動物救援機能等の強化

○家庭動物の防災対策に関する普及啓発 ○災害時の動物救護に関する協定締結の推進

(2) 区市町村の災害時対策の推進

○区市町村の防災計画やマニュアル整備の推進 ○区市町村と動物救護ボランティアとの連携の推進

(3) 特定動物の災害時対策の徹底

(4) 動物取扱業者の災害時対策の徹底

(5) 産業動物・実験動物の災害時対策の徹底

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<p>◆総合防災訓練への東京都獣医師会・区市町村との協働参加（平成26年8月）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（災害時動物救援事業）の活用 5区市町村</p> <p>◆区市町村の防災計画作成支援</p> <p>◆動物愛護推進員、区市町村動物愛護管理担当者対象研修会の開催 5月：「これまでの災害における動物救護活動」 「東京都動物愛護管理推進計画の改定」 2月：「避難所における動物管理」 3月：「東京都の防災計画」 「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」</p> <p>◆都・区市町村担当者が構成する動物行政検討会において、災害対策に関する情報交換、対策検討</p>	<p>◆総合防災訓練への東京都獣医師会・区市町村との協働参加（平成27年9月）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（災害時動物救援事業）の活用 6区市町村</p> <p>◆区市町村の防災計画作成支援</p> <p>◆発災時の現地動物救援本部通信訓練の実施（平成28年3月）</p> <p>◆都・区市町村担当者が構成する動物行政検討会において、災害対策に関する情報交換、対策検討し、災害時対策事例集の作成（平成28年3月）</p>	<p>◆総合防災訓練への東京都獣医師会・区市町村との協働参加（平成28年9月）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（災害時動物救援事業）の活用 7区市町村</p> <p>◆区市町村の防災計画作成支援</p> <p>◆発災時の現地動物救援本部通信訓練の実施（平成29年3月）</p> <p>◆熊本県地震災害支援 ・熊本県へ獣医師を派遣 9名 ・熊本県から被災ペット猫5頭を受入れ</p>	<p>◆総合防災訓練への東京都獣医師会・区市町村との協働参加（平成29年9月、11月）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（災害時動物救援事業）の活用 7区市町村</p> <p>◆区市町村の防災計画作成支援</p> <p>◆避難所管理運営の指針の改訂</p> <p>◆発災時の現地動物救援本部通信訓練の実施（平成30年3月）</p> <p>◆防災展（昭島市）に参加し、ペットの防災対策について普及啓発（平成29年10月）</p> <p>◆「ペットトラブルシンポジウム（ペットの同行避難）」（行政書士ADRセンター東京主催）講師派遣（平成30年3月）</p>	<p>◆総合防災訓練への東京都獣医師会・区市町村との協働参加（平成30年9月予定）</p> <p>◆医療保健政策区市町村包括補助事業（災害時動物救援事業）の活用 8区市町村</p> <p>◆区市町村の防災計画作成支援</p> <p>◆発災時の現地動物救援本部通信訓練の実施（予定）</p>